

## 会議録（1）

会議の名称	令和5年度第1回飯能市児童福祉審議会
開催日時	令和5年7月20日（木） 開会 午後3時00分 閉会 午後4時30分
開催場所	飯能市役所本庁舎別館2階 会議室1
会長氏名	井上 久美子
出席委員	森田 明美 永井 徹郎 井上 久美子 石間戸 洋子 西村 恵子 小玉 育代 清水 雅徳 長谷川 しのぶ
欠席委員	川西 輝明 山崎 百合香
説明者の職氏名	福祉子ども部長 内沼 和彦 健康推進部長 根岸 隆 健康推進部参事兼健康づくり支援課長 生井 隆 保育課長 井竹 信喜 計画運営・認定給付担当主幹 麻田 哲平 総合調整担当主査 谷田部 ひとみ 加治東保育所上席所長 原部 美由紀 美杉台保育所上席所長 岩田 紀美子 子育て支援課長 須田 あゆみ 手当・総務担当主幹 鳴島 昌代 相談支援担当主幹 山口 悟 子育て総合センター主査 大野 祐美 健康づくり支援課 子育て世代包括支援担当主査 小竹 麻美
傍聴者の数	0人
会議次第	別紙のとおり
配付資料	別紙のとおり
事務局職員職氏名	子育て支援課 課長 須田 あゆみ 主幹 鳴島 昌代 主幹 山口 悟 主査 大野 祐美

## 会議録（２）

議事録の概要（経過）・決定事項

### 4 議 事

（１）令和６年度策定予定の「飯能市こども計画」（案）の準備について  
配付資料に基づき説明者から説明を行った後、質疑応答を行った。

（２）子ども・子育て支援事業の進捗状況及び新規事業について  
配付資料に基づき説明者から説明を行った後、質疑応答を行った。

### 会議録（3）

発 言 者	発 言 内 容
事務局	<p>次第4の議事に入らせていただきます。</p> <p>議長は、飯能市児童福祉審議会条例第6条の規定によりまして、井上会長にお願いいたします。</p> <p>また、本日の報告内容は、原則公開となっております。</p> <p>それでは、井上会長、議長をお願いいたします。</p>
議長	<p>現在、傍聴の希望がありませんが、傍聴の希望がありましたら、入室を許可してよろしいでしょうか。</p> <p>（「異議なし」）の声</p>
議長	<p>それでは、次第4の議事に入ります。</p> <p>議事（1）令和6年度策定予定の「飯能市こども計画」（案）の準備について事務局より説明をお願いいたします。</p>
子育て支援課手当 ・総務担当主幹	<p>資料1に基づき、令和6年度策定予定の「飯能市こども計画」（案）の準備について説明を行った。</p>
議長	<p>ありがとうございました。説明は以上ですが、何か質問等がございますか。</p>
長谷川委員	<p>市民意識調査が郵送となっておりますが、郵送の理由を教えてください。QRコードなどを利用し、スマートフォンやタブレット端末を使用してコストをかけず、広範囲から集める方法があると思います。</p>
子育て支援課長	<p>市民意識調査は、郵送を予定としていますが、委員のおっしゃるとおり、小・中学生は学校配布のタブレット端末を持っており、また保護者も閲覧できると承知していますので、郵送以外の方法も今後検討して参ります。</p>
長谷川委員	<p>調査方法は、あくまでも予定ということですか。</p>
子育て支援課長	<p>そのとおりでございます。</p>

長谷川委員	若者へのヒアリング調査は、具体的にどのように検討されていますか。
子育て支援課長	<p>現在、大学生がボランティアサークルや社団法人を立ち上げ、「子どもの居場所」の活動をしている団体があります。この方たちは、飯能市社会福祉協議会と連携しており、ボランティアサークルとして社会福祉協議会が把握されています。来月には、子育て支援課とのネットワーク会議を予定しており、ヒアリング調査には、このネットワークを活用したいと考えております。また、飯能市には駿河台大学があり、以前から駿河台大学の学生が子育て支援課の事業に定期的にボランティアとして携わっていただいています。その学生にも大学の事務局を通してアンケート調査等を検討しております。</p>
長谷川委員	ターゲットは、ボランティア活動でつながりのある学生や、駿河台大学の学生ということですか。
子育て支援課長	そのとおりでございます。
森田委員	<p>飯能市の計画を策定する中で大きな柱として基礎データの蓄積があげられます。飯能市では15年以上前から子どもたちのデータを取っていて、子どもたち自身の基礎データが蓄積されており、どのように変化したかということ踏まえることができます。これは多くの自治体で今からではできないことで、とても貴重なデータです。</p> <p>また、地域変化をどうとらえるかは、子どもたち、若者たちだけのヒアリングだけでは足りません。具体的には、子どもの変化、大人の変化、地域がどのように変化しているか、その中で社会的資源をどう作っていったらよいかを地域でのヒアリングを進めながら考えていかなければなりません。</p> <p>子育てをしている最中の人たちの意見を聴きながら進めることも大事です。</p> <p>それから、子どもたちの移動範囲については、徒歩、自転車、車でも、15分から20分が限界です。この範囲での移動手段を含めての検討も必要です。</p> <p>地域のさまざまな意見を把握しながら市民意識調査に重ねることが大切だと思います。</p>
議長	他に質問は、ございますでしょうか。

	(質問なし)
議長	ご質問がないようですので、よろしいでしょうか。 それでは、議事(1)を終了いたします。 続いて、議事(2) 子ども・子育て支援事業の進捗状況について事務局より説明をお願いいたします。
保育課計画運営・ 認定給付担当主幹	資料2-1に基づき、子ども・子育て支援事業の進捗状況について説明を行った。
議長	ありがとうございました。説明は以上ですが、何か質問等がございますか。
森田委員	提供体制というのは実際に提供された数ということですか。 これを見ると飯能市は保育施設に入りづらいところと感じてしまいます。 市民にわかりやすい資料を工夫して作成してください。
保育課計画運営・ 認定給付担当主幹	本資料が計画に対する進捗を表しており、保育の状況がわかりづらく申し訳ございません。令和4年度は新たに幼稚園型認定こども園ができました。そのため3号の提供体制に変化はございません。1, 2号については提供体制が増加したものの、計画が未達の状況です。 表からは1・2歳児の提供体制が実績数よりも少ないですが、育児休暇を優先する方や特別な事情で保育の利用を控えている方を除いた、利用を希望されている方については、施設の規模や保育士を弾力的に活用することで受け入れているため、待機児童が0人となっております。
森田委員	定員に対して実績がどうだったのかが、重要になってくると思いますが、実際の利用実績はどうなっていますか。
保育課長	利用実績につきまして、3号における0歳児が72人、1・2歳児が424人となっております。
森田委員	提供体制に対して利用者が下回っていたということですか。
保育課長	おっしゃるとおりです。

長谷川委員	<p>近年、保育所の質とか環境が大きく変わっています。また、保護者としては子どもを大切に育てたいと誰もが思っています。ぜひ、保育者の環境改善や精神面のフォロー、サポートを行っていただきたい。子どもの保育に関わる方がハッピーでないと保育は厳しいと思います。</p>
福祉子ども部長	<p>これまで国では待機児童問題のハード面に目を向けておりましたが、近年では徐々に解消しつつあります。今後につきましては、保育士の質の向上という面で研修などを実施したいと考えております。</p>
議長	<p>他に質問は、ございますでしょうか。</p> <p>(質問なし)</p> <p>ご質問がないようですので、よろしいでしょうか。  それでは、引き続き、資料 2-2 について、事務局より説明をお願いいたします。</p>
子育て支援課手当 ・総務担当主幹	<p>資料 2-2 に基づき、子ども・子育て支援事業の進捗状況について説明を行った。</p>
森田委員	<p>資料 2-2 の⑤乳児家庭全戸訪問事業について、436 人の見込みに対して 362 人の詳細についてお聞きしたいです。  また、4 ページ⑩のファミリー・サポート・センター事業の実績が 1,053 件となっており、他市と比べ特出しています。理由を伺いたいと思います。</p>
健康づくり支援 課長	<p>令和 4 年度の出生数が 366 人でした。内 4 人は子の体調不良による入院や施設入所により実施できなかったものです。なお、状況については、すべて把握しております。</p>
子育て支援課長	<p>1,053 件は延べ件数です。月 20 日利用されている方もいらっしゃる状況です。</p>
長谷川委員	<p>トワイライトステイとは、どういうものですか。</p>
子育て支援課相談 支援担当主幹	<p>トワイライトステイは、保護者が仕事等を理由により、平日の夜間または休日に不在となる場合に、市が指定した児童福祉</p>

	<p>施設等において児童の養育を行うものですが、飯能市では現在のところ、利用が必要と思われるケースはございませんでした。飯能市の現状ではショートステイについて、児童養護施設と契約しており、トワイライトステイ利用希望ケースもカバーできると考えております。</p>
<p>議長</p>	<p>他に質問は、ございますでしょうか。</p> <p>(質問なし)</p> <p>ご質問がないようですので、よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、引き続き、子ども・子育て支援事業の進捗状況の資料 2-3 についてと子ども・子育て支援事業の新規事業の資料 3 について、事務局より説明をお願いいたします。</p>
<p>子育て支援課手当 ・総務担当主幹 健康づくり支援課 子育て世代包括支 援担当主査</p>	<p>資料 2-3、資料 3 に基づき、子ども・子育て支援事業の進捗状況及び新規事業について説明を行った。</p>
<p>議長</p>	<p>ありがとうございました。説明は以上ですが、何か質問等がございますか。</p>
<p>西村委員</p>	<p>資料 2-3 の 10 ページに理学療法士等による保育所の巡回支援事業があります。この事業について私立保育園も同様に事業を実施していただきたいと思います。</p>
<p>保育課長</p>	<p>現状では公立保育所を対象とした事業となっております。新たな予算計上が厳しい状況です。また、国の補助を受けての事業のため、民間施設も対象となるのか研究して参ります。</p>
<p>石間戸委員</p>	<p>私立幼稚園についても、事業の実施をお願いしたいと思います。公立、私立関係なく市全体に実施していただきたいと思います。</p>
<p>長谷川委員</p>	<p>保護者の中には公立と私立を選ぶことができない方がいると思います。公立だけではなく未来の納税者を育てるという視点で実施していただきたいです。</p>

<p>子育て支援課子育て総合センター 主査</p>	<p>資料 2-3 の 9 ページの子育て講座事業について具体的に教えてください。</p> <p>家族向け講座につきましては、公認心理師による「やる気スイッチの入れ方」を開催しました。</p> <p>保護者向け講座につきましては、大学准教授による「子どもの発達を知ると子育てが楽しくなる」を開催しました。</p>
<p>長谷川委員</p>	<p>それぞれ魅力ある講座だと思いますが、参加者数が少ないと感じます。広報等改善の余地があると思います。保護者のニーズに合わせたものを検討していただけたらと思います。</p>
<p>子育て支援課長</p>	<p>ご意見ありがとうございます。研究いたします。</p>
<p>森田委員</p>	<p>今年度の新規事業のうち、ひとり親支援が 3 つあります。これは県主導のものかどうか教えてください。</p> <p>訪問型産後ケア事業については、県の事業なのか飯能市単独事業なのか教えてください。</p>
<p>子育て支援課手当 ・総務担当主幹</p>	<p>養育費に関する 2 つの補助金につきましては、国 1/2 の補助金を充当する市の新規事業でございます。</p>
<p>健康推進部長</p>	<p>県内現物給付化につきましては、県が主導して子ども医療費とひとり親家庭の医療費、重度心身障害者医療費の 3 つが対象の事業です。</p>
<p>健康づくり支援 課長</p>	<p>訪問型産後ケア事業につきましては、国の補助金を活用して市がサービス事業者の選定を行い、契約して実施しています。</p>
<p>森田委員</p>	<p>国の補助事業を県を飛び越えて市が実施することは、かなりの決断が必要です。このような事業の開始は重要なことと思います。様々な問題で一番苦しいときに行政が支えてくれることは頼りになると感じます。ぜひ数が少なくても、今後も実施していただきたいと思います。子どもたちを支援するためには、親の支援も必要です。家族に目を向けた支援だけでなく社会、地域に展開するような取り組みの計画を考えなければならないと思います。</p>
<p>長谷川委員</p>	<p>ヤングケアラーの問題についても実際の子どもたちの状況</p>



